

大学生と農山漁村との連携事例



Carbon herb farm

実施主体名： 大西 花歩（大学2回生）

担当窓口

大西 花歩



Instagram

https://www.instagram.com/carbonherbfarm?igsh=MWhlMzcyemc2NTB3Ng%3D%3D&utm_source=qr



活動内容

【休耕田を活用したハーブ栽培】

休耕田となっていた農地に、米ぬかや籾殻、腐葉土を用いて土作りをし、カモミールやラベンダーなど年間約10種類のハーブを栽培している。防草シート等も活用することで、農薬や化学肥料を使わないことにこだわっている。

食品衛生責任者の資格を取得するとともに、友人の協力によりパッケージを作成し、ティーバッグを商品化。月に一度地域のイベントに出店し、ハーブティーやカフェとのコラボスイーツ等を販売している。



きっかけ

私は代々続く米農家の娘。祖母の急死をきっかけに、後継者不足による荒廃農地の増加など様々な問題に対して、自分にできることはないか模索し始めた。

薬学部での学習内容に繋がること、また、販売を始めても、大学での学びに支障が出ないよう、長期保存のきく乾物を作ろうと思い、ハーブの栽培を始めた。

展望

活動を始めてから約2年。多くの方からの温かいご支援をいただき、楽しみながら活動が続けている。より多くの方に癒しをご提供できるよう、これからも努力していこうと思う。



土づくりの様子



ハーブ（カモミール）



ティーバッグ



フライヤー



販売の様子